

医療支援歯学教育コースワーク
要介護高齢者を模したシミュレーターや老人介護・在宅介護施設を用いた PBL 演習
開催のご案内

課題解決型高度医療人材養成プログラム

関係各位

課題解決型高度医療人材養成プログラム事業の遂行にあたり、平素よりご尽力いただき、誠に有り難うございます。岡山大学にて予定しております「介護施設を用いた PBL 演習」に関してご案内をさせていただきます。

本演習は、本学歯学部3年生を対象とした、特別養護老人ホームへの訪問を起点とした問題発見型テュートリアル演習です。詳細につきましては添付の資料をご確認いただきたく存じますが、本演習のガイダンス講義として、6月6日(月)に日本歯科大学の菊谷 武教授の特別講演がございます。その後、特別養護老人ホームに学生が訪問し、少人数のグループで入所者と触れあいます。この特別養護老人ホームへの学生の訪問は、6月13日(水)、6月27日(水)午後に行われます。この機会に、可能でしたら、連携大学の学生の皆さんにご参加いただきたく存じますが、ご興味がある先生方にもぜひご参加いただきたく存じます。尚、見学実習に関しましては、バスの都合により、人数調整をさせていただく可能性がございます。履修願等の書類をご準備いただく必要がございますので、参加希望の学生がおられましたら、別途ご連絡させていただきます。

直前のご案内となり、大変恐縮でございますが、参加のご希望、ご不明点等ございましたら岡山大学医療教育統合開発センター杉本恭子(k-sugi@md.okayama-u.ac.jp)宛に6月1日(水)13時までにご連絡いただきたく存じます。よろしく願いいたします。

記

1. 目的

現在我が国は超高齢社会を迎え、高齢者の身体的・精神的状況に応じた口腔の健康維持・増進が課題となっている。そのため、目の前にいる高齢患者の問題点を抽出し、解決方法を検討することは歯科治療に不可欠である。特に後期高齢者や要介護高齢者は多くの全身疾患や機能障害を抱えているため、より詳細な検討が必要である。

そこで、本年度のテュートリアル実習では後期高齢者、要介護高齢者の医療・介護現場を見学し、患者の問題点を抽出する(Problem-based learning)。そして、その問題を解決するために少人数グループでディスカッションし(少人数討論: Small group learning)、レポートを作成することを目的とする。

2. 実習形態

各テューターはひとつのグループを担当する。テューターの引率のもと、後期高齢者患者の医療面接を行った後、グループ内で討論を行う。最終日の発表会では討論の内容に即したテーマを決めて発表する。その後、各人でレポートを作成する。

3. 進行予定と日程

- 1) 本実習の第1回目には、菊谷 武先生の高齢者医療に関する講義を受講する。講義後、テュートリアルの流れと学外実習の注意事項の説明を受ける。また、班ごとに配布された情報シートにより、対象患者の情報（全身状態、要介護度、コミュニケーションの可否、口腔内の状態など）を把握し、各自質問事項をリストアップしておく。
- 2) 第2回目には、高齢者施設見学を行う。各班1名の対象患者へのインタビューおよび施設見学を行う。
- 3) 次に対象患者の問題点の抽出を開始する。情報シートと見学、インタビューで得た情報をもとに、患者に歯科的な主訴や問題点がみられるか、どのような身体的、精神的、社会的問題点を抱えているかを考察する。
- 4) グループディスカッションにて、対象患者が抱える問題点の解決策を考察する。この際、臨床エビデンス（文献）の検索、批判的吟味を行う。
- 5) その後、再度対象患者の施設を訪問し、対象患者にインタビューを行い、実際の情報を元により深く問題点と解決策に検討を加える。文献は複数検索し、批判的吟味を行うことを心がける。
- 6) 討論の内容から1つのテーマを決め、最後にコンペティション形式の発表会を行う。

日時	時限	授業題目	授業内容	担当教員	場所
6月6日 (月)	4,5,6	特別講義	在宅診療における食支援	菊谷 武 教授	第三講義室
	7	オリエンテーション, 症例概説	テュートリアルの流れの説明, 症例検討	各テューター	第三講義室 第二基礎実習室
6月13日 (月)	4,5,6	施設見学	高齢者施設の見学	各テューター	特別養護老人ホーム
	7	症例検討, 問題提起	患者の問題点, 疑問点の抽出	各テューター	第三講義室 第二基礎実習室 他
6月20日 (月)	4,5,6,7	テュートリアル	POSとEBMに基づくグループディスカッション	各テューター	第三講義室 第二基礎実習室 他
6月27日 (月)	4,5,6	施設見学	高齢者施設の見学(疑問点の解決)	各テューター, (窪木先生)	特別養護老人ホーム
	7	テュートリアル	POSとEBMに基づくグループディスカッション	各テューター	第三講義室 第二基礎実習室 他
7月4日 (月)	4,5,6,7	〃	〃	〃	〃
7月11日 (月)	4,5,6,7	〃	〃	〃	〃
7月25日 (月)	4,5,6,7	発表準備	〃	〃	〃
7月29日 (金)	4,5,6,7	グループ発表会	各班による成果発表会	各テューター, 窪木先生	第三講義室

〈症例見学の日程〉

6月13日（月）

12：50～13：00 第3講義室にて準備

13：10～14：00 移動（バス：旧東門出発）

14：10～15：00 患者へのインタビュー（30分程度），施設見学（20分程度）

15：10～16：00 移動（バス）

16：00 大学到着

16：20～17：20 症例検討，問題提起

6月27日（月）

12：50～13：00 第3講義室にて準備

13：10～14：00 移動（バス：旧東門出発）

14：10～15：00 患者へのインタビュー（30分程度），施設見学（20分程度）

15：10～16：00 移動（バス）

16：00 大学到着

16：20～17：20 グループディスカッション

介護施設を用いたPBL演習

実習スケジュール 対象：3年生 (Early Exposureとして)



- ・現状の問題点を改善するための方策について考える
- ・要介護高齢者への歯科的介入を支える基礎的知見や臨床エビデンスが不足していることに気づく

8日目(7月29日): 経験した問題点とその解決策を発表し議論する

5-7日目(7月4, 11, 25日): 少人数グループ学習
解決策の検討

1人の要介護高齢者及び介護職員と2度接する機会を設け、介護老人保健施設の現場で歯科医療がどの様に参画ができるかを体験する

4日目(6月27日): 老人介護施設見学2回目
インタビュー

3日目(6月20日): 少人数グループ学習
問題点抽出

学生を大学から地域の要介護高齢者医療・介護現場に連れ出す

2日目(6月13日): 老人介護施設見学1回目
インタビュー

1日目(6月6日): 講義
「在宅診療における食支援」
日本歯科大学 菊谷 武先生



医療人としての自覚を持ち、健康長寿社会を実現する医療・介護ニーズに対応できるマインドを持つ歯学生の養成